

関係者の皆様

令和 7 年度に向けた改善策 (学校関係者評価委員会評価結果の報告を受けて)

学校関係者評価委員会委員の皆様にはご多用中にもかかわらず、学校評価アンケート、自己評価などのデータをもとに分析検討をしていただき「学校関係者評価委員会報告書」をご提出いただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。

ご提出いただいた報告書をもとに改善策を考え、令和 7 年度の学校経営に生かしてまいります。

1 学習指導について

・令和 6 年度も、タブレットなどの I C T 機器を活用した授業を実施してまいりました。しかし、「生徒の学びをどのように促すか」「生徒にどのような力をつけるのか」という観点を踏まえて、I C T 機器を活用することが目的ではなく、生徒の学習意欲を喚起し「わかる授業、できる授業」の実現に向けて努力をしてまいります。

学習指導に関しては、生徒の評価も高い状況を継続しておりますが、「提出物やテストなどを分かりやすく評価している」に対する 17% の否定的評価があること、保護者の評価において「分からぬ」が増加している状況があることを真摯に受け止め、より様々な機会を活用して、保護者や地域の皆様にも生徒の学習の様子を知っていただくために、学校からの情報の発信方法について工夫して、日常の授業の様子、評価について知らせる努力を続けてまいります。

2 生活指導について

・昨年度、一昨年度と同様に、生徒・保護者ともにすべての設問で肯定的評価が高い状況を維持しており、良好な状況を継続しています。今後も引き続き一人一人の生徒を大切にした、きめの細かな丁寧な指導や支援を組織的に行ってまいります。

しかし、依然として生徒による否定的評価が 10~15% あることを真摯に受け止め、ルールは一方的に与えられるものではなく、「こども基本法」の理念を踏まえ自分たちで考え作っていくものであることが実感をもてる指導、自ら根拠や影響を考え課題を解決するという指導を心がけてまいります。

3 学校行事について

・新型コロナ等による様々な制約もほとんどなくなり、学校行事が行われた状況もあり、生徒

・保護者とともに肯定的評価が高い結果となっています。これからも、生徒一人一人の心身の成長につながる取り組みであることを基本とし、それぞれの行事の意義、負担等を踏まえて、生徒の意欲を大切にするために、意見を聞く、選ぶ、考える機会を設けるよう見直し、精選に取り組んでまいります。また、「事前の準備や当日の案内などへの配慮がある」に関しては肯定的評価が68%と昨年度と同様だった点については、通知方法、通知内容に関して工夫、改善を行ってまいります。

4 キャリア教育について

・2年生の職場体験の実施、キャリアパスポートの活用が小学校時代から導入されていた状況などから1年生から肯定的評価が増えてきている状況があります。しかし、「分からない」の割合が増加している点、（今年度の3年生において評価が高くない点も含め）、キャリアパスポートの実質的な活用方法、1年生の段階からの各教科を含めた体系的なキャリア教育を検討していくとともに、キャリア教育に関する丁寧できめ細かい説明を生徒・保護者に行ってまいります。

5 教職員について

・「先生たちは、生徒が相談しやすい」に対して生徒の肯定的評価が高まったことに関しては、様々な不安やストレスを抱えている生徒に寄り添いながら、相談しやすい雰囲気を学校全体で作り上げ、丁寧な指導を心がけるよう目指している点もあるかと思いますが、依然として生徒の否定的評価が24%あることは真摯に受け止めます。また、保護者の回答は変わっていない点、生徒・保護者から見て、「ていねいな指導」は行われているが、「相談しやすい」とは必ずしも思えない状況である点を受け止め、改善を行うとともに、生徒・保護者に寄り添い丁寧な指導を心がけてまいります。

6 全般について

・生徒の「学校生活は、楽しい。」「学校生活は達成感がある。」という設問に対する肯定的評価は高い状態を維持しているが「学校が楽しい」に対して否定的評価が1年生で13%であることは真摯に受け止めてまいります。また、「学校行事は、達成感がある」の肯定的評価が93%あることから、日常生活の中で達成感が得られる、感じられる学校生活（自己肯定感や自己有用感を感じられる活動）を継続するため、今後も引き続き教職員が一丸となって教育活動を推進してまいります。

7 部活動について

・生徒、保護者ともに「部活動は楽しい」「部活動は達成感がある」の両設問で生徒は肯定的評価が70%弱、保護者のほうは少し高めになっています。今後も、部活動の地域展開につい

ては国や地域の方針を踏まえ、外部指導員等も活用しながら、部活動の意義を踏まえ、生徒にとって魅力ある活動、心の成長につながる活動になるよう努めてまいります。

8 学校からの情報提供について

・肯定的な評価は昨年度とほぼ同様でした。また、地域からの肯定的評価も昨年度より高くなりました。しかし、「学び舎」に関しては肯定的評価が46%という状況もあるため、今後も的確でタイムリーな情報発信を、印刷物、ホームページ、すぐーる等、その時々にふさわしいツールを活用して発信し、本校の教育活動についてのご理解をいただく努力をしてまいります。

9 学校運営について

・昨年度より肯定的な評価が減少し、その分、「わからない」が増加しました。また、「8 学校からの情報提供について」とも関連しますが、地域と保護者における評価にも差がかなりありました。今後も学校の教育方針や指導の重点等についても保護者に向けた積極的な情報発信、地域に向けた情報提供の方法の工夫、改善を心がけてまいります。

10 家庭と学校との連携について

・「9（1）本校は、保護者に指導の重点を伝えている。」の評価と比べて、「今年度の学校の指導の重点を理解している。」の評価が低い状況が見られました。「情報提供」が「指導の重点の理解」に十分につながっていないと思われます。「情報提供」に関する工夫、改善をその時々で様々な工夫をしながら、家庭と学校が同じ方向を向いて、生徒の成長のために連携をしながら教育活動を推進してまいります。

11 地域連携について

・依然として「分からない」の割合が多くある状況です。地域行事やボランティア活動に対する意識の高い生徒が多いのも本校の特長です。今後も各種ボランティア活動への参加を積極的に奨めるとともに情報発信に努め、保護者への参加呼びかけを工夫するなど地域との連携を進めてまいります。

12 学校の安全性について

・昨年度は校舎を地域避難所として活用するための耐震工事が実施されるなど、わかりやすい状況もあり肯定的な評価が高くなりましたが、今年度は若干、肯定的評価が減少しています。今後も日頃の避難訓練や安全指導を含め、安心安全な学校生活が送れるように指導とともに、保護者、地域とも連携を進めてまいります。

13 学校独自項目(生徒・保護者・地域)について

1 教育目標について（保護者・地域）

・学校は教育目標の具現化に向けて日々の教育活動を推進しています。今年度は肯定的評価が地域においては昨年度と同程度、保護者においては昨年度より「自ら考え正しく実行しようとする生徒を育てる努力をしている。」に関しては10ポイント以上高い評価となりました。今後も教育目標の具現化に向けた重点目標等を適切に設定し、それらを意識した教育活動を推進してまいります。

2 駒留中学校の学習指導について（生徒）

・全体として肯定的評価が74～88%であるが、1・2年生では教科による差が若干見られる。研修を計画的に実施し、「分かる授業」「楽しい授業」とするため工夫・改善に努め、生徒の学力向上に向けて取り組んでまいります。

◎ おわりに

重点目標としながら、「授業の内容をよく理解できる。」は、「映像やタブレットなどのＩＣＴを利用し、分かりやすい授業をしている。」の肯定的評価が86%と目標を達成しているが、生徒理解において「先生たちは、生徒が相談しやすい」に対する評価、（目標は肯定的評価70%に対して68%）、キャリア教育に関する「自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある」に対する評価（目標は肯定的評価80%に対して67%）の不十分な点を真摯に受け止め、本校の良き伝統と校風の下、地域に根ざし地域とともに地域から信頼される学校を目指し、生徒・保護者、教職員そして多くの地域関係者の皆様と力を合わせ、さらに成長・発展する駒留中学校になるよう引き続き努力してまいります。

今後とも本校の教育活動に対するご理解とご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。